

日本ピラー工業 (6490) アウトパフォーム (継続)

免振装置特需継続に加え、半導体製造装置向け好調持続で会社予想大幅増額期待

株価 1682 円 (6/5) 時価総額 421 億円 (5/12) 発行済株 25042 千株 (6/5)
PER (18/3DO : 10.8X) PBR (1.12X) 配当 (DO) 40 円 配当性向 2.4%

要約

- ・ 17/3 期は 18.6%増収、48.9%営業増益と半導体、免振措置など電子機器向けが牽引
- ・ 18/3 期会社予想は 2.8%増収、営利 0.7%増、経常 1.0%減予想も増額修正期待
- ・ 今期の環境も良好で会社予想増額見通しで、株価は機械平均 PER19.3 倍の 3000 円目標

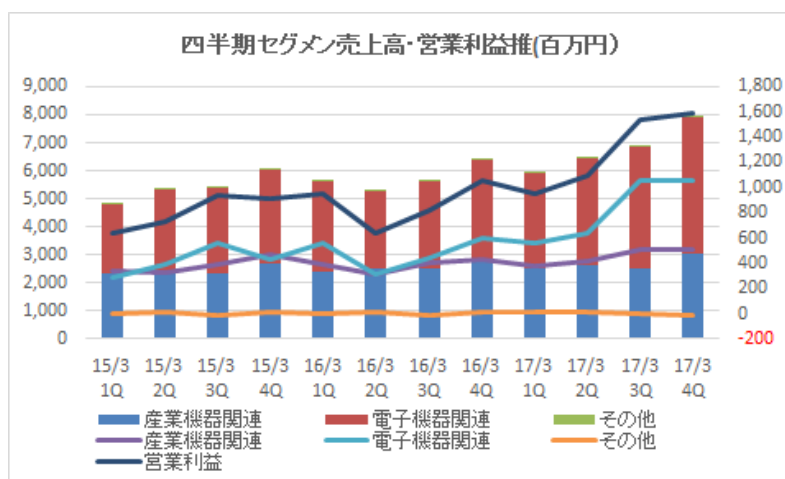
17/3 期は 18.6%増収、48.9%営業増益と半導体、免振措置など電子機器向けが牽引

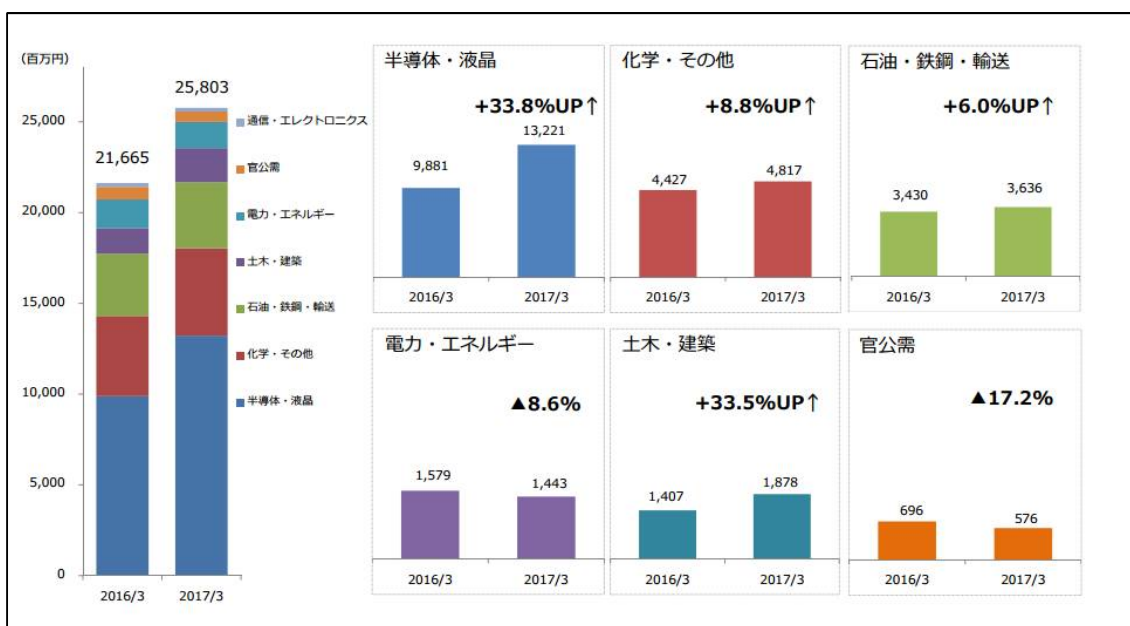
6/5 に 17/3 期決算説明会が開催された。17/3 期は、売上高 272.55 億円 (18.6%増)、営業利益 51.66 億円 (48.9%増)、経常利益 52.55 億円 (50.4%増)、税引利益 32.04 億円 (33.7%増)。

セグメント別では産業機器関連が売上高 106.80 億円 (3.2%増)、営利

18.28 億円 (19.7%増)、電子機器関連が売上高 164.52 億円 (31.4%増)、営利 33.14 億円 (72.7%増) となった。産業機器向けはシール材が精密機器装置向けに拡大、電子機器関連は半導体製造装置、液晶製造装置向けフッ素樹脂製品「ピラフロン」が大幅増、免振措置「ピラーユニットン支承」が取り替え工事特需で活況となった。

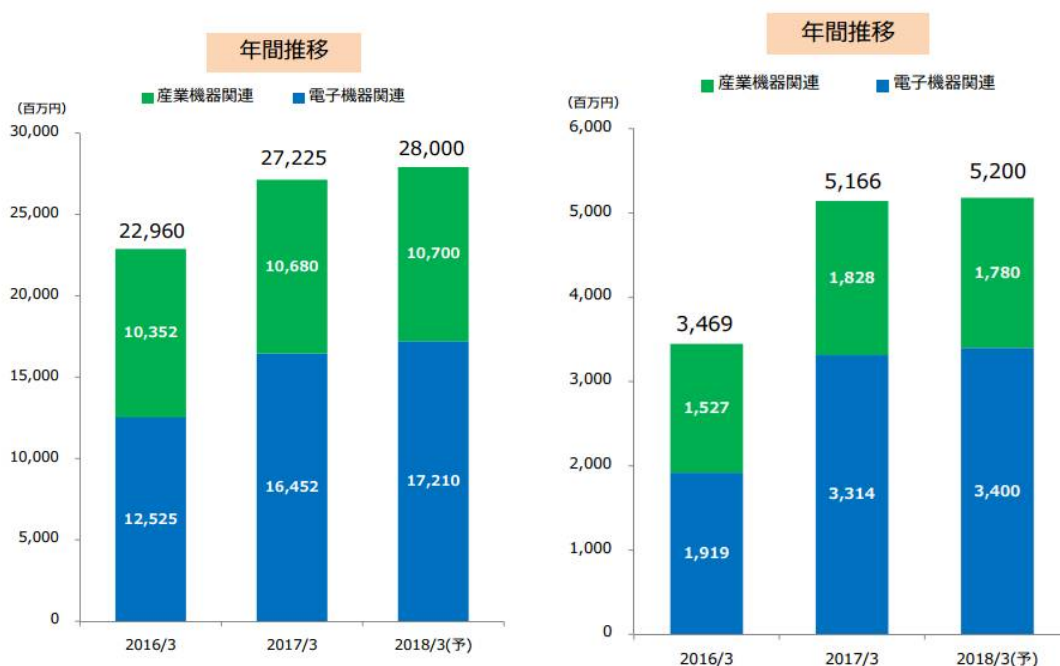
単独決算ベースでの市場別では半導体・液晶が 33.8%増の 132.21 億円、免振装置の取り換え工事特需のあった土木・建築向けが 33.5%増の 18.78 億円と際立った。





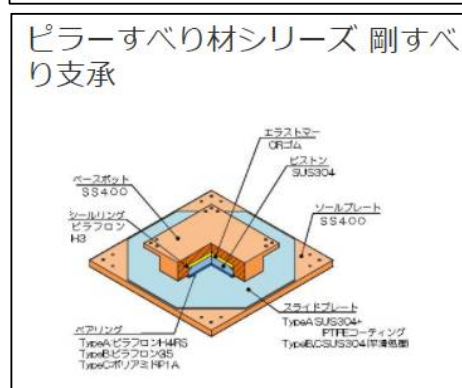
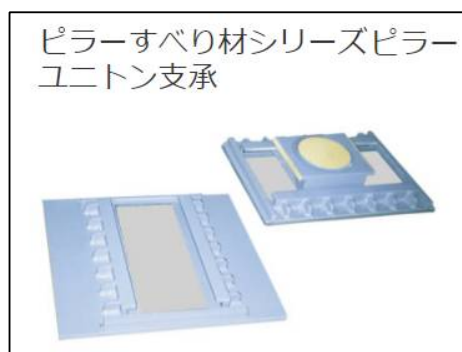
18/3 期会社予想は 2.8%増収、営利 0.7%増、経常 1.0%減予想も増額修正期待

18/3 期会社予想は売上高 280 億円 (2.8%増)、営業利益 52 億円 (0.7%増)、経常利益 52 億円 (1.0%減)、税引 33 億円 (3.0%増)。会社側では前 2Q~4Q の数字が過大として今期半導体向けを横ばいと想定、電子関連事業増の大半を免振装置特需継続で占めるとしている。また、ミリ波アンテナなども売上開示を見送り、大きく伸びる予想とはしないなど、予想数字は保守的というよりも、開示情報の後退的な要素が大きい。



ただし現在、半導体産業は3次元、微細化が進展、大規模工場の新設が相次ぎ、新興の中国企業での半導体工場投資もいよいよ本格拡大する。3次元化では積層数の高まりからCMP工程が多様化、微細化の高まりで洗浄工程や薬液処理の高度化が求められている。

このような中で、同社主力ユーザーであるスクリーンや東京エレクトロンの収益動向から、シェア6~7割を有するテフロン製フィッティング（継ぎ手）、CMP装置向けロータリージョイントなどが旺盛な需要を背景に引き続き好調に推移しよう。また米国AMATなどへのアプローチで売上拡大が見込めるほか、中国向けでは半導体設備投資に加え、次世代LCD工場新設でLCD製造装置向け拡大が見込める。当面、環境に変化なく、収益拡大が続こう。なお免振装置も、建物への特需要素以外に半導体製造装置などの設置でも利用可能なものであり、同社は能力増計画で設備増強も行っている。



今期の環境も良好で会社予想増額見通しから、株価は機械平均PER19.3倍の3000円目標

株価は6/2に1720円と過去最高値を付けたが、18/3期会社予想EPS134.98円に対して12.5倍と、過去5年間の平均PER12.7倍並みにとどまる。同社の消極的なIR姿勢が一部投資家の投資見送りを招く恐れはあるものの、今後、額修正含みで営業利益が連続最高益更新、自動運転ADAS関連銘柄としても注目度が高まる可能性もある。来19/3期は免振装置特需がなくなるため収益の伸びは鈍化見通しながら連続最高益更新を維持できる見通しから、18/3期DO予想EPS155.43円に対して機械株平均19.3倍水準となる3000円を目標としたい。なお、会社側は20/3期売上高300億円、営業利益55億円、税引利益35億円という中計「BTvision19」を開示したが、早ければ今期にも2年前倒しの達成もあり得ることも今後の株価上昇要因となり得る。

日本ピラー工業(6490)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
15/3期	21,675	4.6%	3,226	10.9%	3,447	13.7%	1,986	7.1%	80.30	20.00
16/3期	22,960	5.9%	3,469	7.5%	3,493	1.3%	2,397	20.7%	97.20	28.00
17/3上期	12,391	13.2%	2,042	28.5%	1,998	21.8%	1,138	13.5%	46.58	14.00
17/3下期	14,834	23.5%	3,124	66.3%	3,257	75.8%	2,066	48.2%	84.48	20.00
17/3期	27,225	18.6%	5,166	48.9%	5,255	50.4%	3,204	33.7%	131.06	34.00
18/3期会予	28,000	2.8%	5,200	0.7%	5,200	-1.0%	3,300	3.0%	134.98	34.00
18/3期DO予	29,700	9.1%	6,000	16.1%	6,100	16.1%	3,800	18.6%	155.43	40.00
19/3期DO予	31,000	4.4%	6,300	5.0%	6,400	4.9%	4,100	7.9%	167.70	45.00

業績推移	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3会予	18/3DO予	19/3DO予
売上高	20,720	21,675	22,960	27,225	28,000	29,700	31,000
産業機器関連	9,683	9,797	10,352	10,680	10,700	11,500	12,000
電子機器関連	10,983	11,803	12,525	16,452	17,210	18,100	19,000
その他	53	75	83	91	90	100	100
営業利益	2,908	3,226	3,469	5,166	5,200	6,000	6,300
産業機器関連	1,434	1,528	1,527	1,828	1,780	2,080	2,200
電子機器関連	1,456	1,677	1,919	3,314	3,400	3,900	4,080
その他	14	21	23	13	20	20	20
売上高比率	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3会予	18/3DO予	19/3DO予
産業機器関連	46.7%	45.2%	45.1%	39.2%	38.2%	38.7%	38.7%
電子機器関連	53.0%	54.5%	54.6%	60.4%	61.5%	60.9%	61.3%
営業利益率	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3会予	18/3DO予	19/3DO予
全体営業利益率	14.0%	14.9%	15.1%	19.0%	18.6%	20.2%	20.3%
産業機器関連	14.8%	15.6%	14.8%	17.1%	16.6%	18.1%	18.3%
電子機器関連	13.3%	14.2%	15.3%	20.1%	19.8%	21.5%	21.5%
その他	26.4%	28.0%	27.7%	14.3%	22.2%	20.0%	20.0%

